

## トルコギキョウ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	炭 疽 病	斑 点 病	灰 色 か び 病	菌 核 病	う ど こ 病	立 枯 病 (フザリウム菌)	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	オ オ タ バ コ ガ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ コ ブ セ ン チ ュ ウ
トップジンM水	1		-	5		◎		◎										
ベンレート水	1		*d	1						灌								
パレード20FL	7		*c	3		◎			◎									
アミスター20FL	11		*e	5		◎												
ファンタジスタ顆水	11		*c	5		◎	◎											
メジャーFL	11		*a	3		◎												
スコア顆水	3		*e	6		◎												
ポリオキシシリンAL溶	19		*c	8		◎												
ジマンダイセン水	M3		*c	8	◎													
マイコタール	-		*a	-							シ							
ジェイエース粒	1B		*a	5							◎	◎						
スミフェート粒	1B		*a	5							◎	◎						
ラグビーMC粒	1B		*b	1														◎
アディオオンFL	3A		-	6							ヒ							
スカウトFL	3A	劇	-	5							◎	◎						
テルスターFL	3A	劇	-	3							ヒ							
トレボン乳	3A		-	6														◎
マブリック水20	3A	劇	*a	2							◎							
アクタラ顆溶	4A		*a	6							カ		◎	◎				
マトリックFL	18		*a	4														◎
ヨーバルFL	28		*a	3														◎
			*f	1														灌

\*a:発生初期 \*b:植付前 \*c:発病初期 \*d:定植前日

\*e:発病前～発病初期 \*f:定植前日～定植当日

カ:ミカンキイロアザミウマ

シ:施設栽培でミカンキイロアザミウマに登録

ヒ:ヒラズハナアザミウマ

灌:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットに灌注処理する。

## トルコギキョウ (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期 (発病初期)	・次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400倍	
立枯病(フザリウム菌)	定植前日	・次の薬剤を灌注処理する。 ベンレート水和剤 # 1000倍	#セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、 使用土壌約4~5ℓ)あたり0.5ℓ。
苗立枯病 株腐病 根腐病	定植前	1. 圃場の排水に留意する。 2. 健全苗を用い、軟弱徒長した苗を定植しない。 3. 次の薬剤いずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤* バスアミド微粒剤* いずれも20~30kg/10a	株腐病はリゾクトニア菌、根腐病はピシウム菌による。  *苗立枯病、株腐病は花き類・観葉植物での登録
灰色かび病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000~3000倍 ポリベリン水和剤* 1000倍 サンヨール(乳)* 500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。  *花き類・観葉植物での登録
アザミウマ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 オルトラン粒剤(株元散布)* 3~6kg/10a スカウトフロアブル 2000倍 マブリック水和剤 4000倍	*花き類・観葉植物での登録
シロイチモジヨトウ	生育期	1. 施設の側面及び妻面に防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。 2. 次の薬剤を散布する。 ロムダンフロアブル* 1000倍	*花き類・観葉植物での登録
ハスモンヨトウ	生育期	1. 施設の側面及び妻面に防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。 2. 次の薬剤を散布する。 トレボン乳剤 1000倍	
その他の病害虫		モザイク病、株腐病、根腐病	